

進路だより

第60期生 第2号
令和2年6月10日
大阪市立淀川中学校

学校の種類について知ろう ①私立高校編

大阪には私立高校がたくさんあり、受験を希望する人も多く淀川中学校では例年30%程度の人が進学しています。

私立学校の特徴

- 男子校・女子校があります。(もちろん共学校もあります。)
- 通信制(全日制の学校より登校日数を少なくし、その分の学習を家庭で行うことのできる学校)多くの選択肢があります。(大阪府の公立では桃谷高校があります。)
- しつけをきっちりする学校、スポーツ(クラブ)に力を入れる学校、進学に力を入れる学校、付属の大学への進学を保障する学校、など、特色ある校風を持っています。
- 居住地に関係なく、どの学校でも受けられます。ただし京阪神地区は試験日程が同じなので、京阪神の学校を複数受けることはできません。(ほんの一部で別日程もあります。)
- 国や大阪府からの補助金が増えたとはいえ、入学金や制服代、修学旅行の積立金などは、公立学校より高額になる傾向があります。

専願と併願について

「専願」と「併願」の2種類の受け方があります。

○専願

合格したら、必ずその学校に入学し公立高校を受験できません。不合格の場合は公立高校も受験できます。また専願のほうが併願よりも有利な場合が多くあります。例えば、合格最低点が専願よりも併願のほうが高く設定されている学校もあります。

○併願

私立・公立を両方受験します。私立、公立両方合格した場合は、必ず公立高校に入学することになります。

合否について

中学校からの調査書、当日の筆記試験の得点、面接試験(面接のない学校もあります)の3つ(2つ)で総合的に判定されます。

- 中学校からの調査書は、2学期末の9教科の評定や学校生活について記載します。
- 筆記試験は3教科~5教科です(学校によって異なります)。コースによっては国数英理社以外の専門科目の試験がある場合もあります。合計点が合格点以上であっても、どれかの教科が低い点数しか取れていない場合、不合格とする学校もあります。
- 面接は、個人面接とグループ面接(複数人同時に面接など)の学校があります。面接がない学校もありますし、専願受験者だけ面接がある学校もあります。